

# 昇格と昇給の幅を抑制



NO. 189  
2012. 7.30

発行  
国土交通省管理職ユニオン  
所在地  
東京都千代田区霞ヶ関 2-1-2 中央合同庁舎 2号館  
TEL 03-3509-1138  
Eメール  
k-union@alpha.ocn.ne.jp  
ホームページ  
http://www7.ocn.ne.jp/~k-union

五級頭打ち・一昨年の一、五%削減による六級昇格しても給与ダウン  
昨年の八、〇%の給与削減・予想される退職金大幅削減

## これでは、生活も勤労意欲も維持できない

人事院は、二〇一二年度勧告で「来年一月から五五歳以上の国家公務員の昇給・昇格を抑制する」勧告案を国公労連に対して行いました。  
その内容は、昇給については「五五歳以上職員の昇給号俸を半分に」昇格については「高位号俸者の昇給メリットを抑制する」というものです。

七月二四日に人事院が、「これまで、早急にお示しをすると申し上げていた五〇歳台の昇給・昇格制度見直しの成案が取りまとまったので、提案したい」と国公労連に行った説明は次の通りです。

### 昇給抑制

昇給制度の見直しについては、五五歳を超える職員（医療職（一）、行政職（二）は五七歳を超える職員の昇給号俸数は下表の通り。

### 昇格抑制

昇格制度の見直しに関しては、各職務の級の最高号俸を含めた上位一七号俸（五基幹号俸分の号俸）から、初任の級を除く級に昇格する場合に決定される号俸について、昇格に伴う俸給額の上昇を抑制するため、昇格後の号俸を現行より下位の号俸に決定するものとする。

### 実施時期

以上の見直しの実施時期は、平成二五年一月一日。

## ユニオンは直ちに本院・地方事務局に抗議と撤回の申し入れを実施

この人事院の提案に、二四日ユニオン本部は「二〇一〇五年の制度見直しによる五級頭打ちが始まって、一昨年の五五歳以上六級職員の一、五%給与削減とそれによる六級昇格しても給与が下がる国土交通省の昇格実態、昨年の八%以上の給与削減と管理職手当が一〇%削減、そして退職金が四〇〇万円以上の削減が予想される中、今回の昇給・昇格の抑制は、私たちの生活

の破壊になるし、勤労意欲も維持できなくなる。いま、人事院がやることは、政府の圧力に負けることなく、公務員労働者の労働基本権の代償措置としての役割を果たすべきである。そのためにも、二〇一二年度勧告については「現在の実態賃金ベース」を基にして、民間との格差是正を勧告すべきである」と申し入れと抗議文の手渡しを行いました。

そもそも五五歳以上職員の間との比較についても、年齢・役職・事業規模などの比較については明らかにならず、民間は一定の年齢になれば出向や役職を降り、責任と業務内容が変化している実態を無視していることは断じて容認できません。

また、今回の提案が「国土交通省管理職ユニオン」にされなかったことについても抗議し、直ちに是正するように申し入れを行いました。今回の「提案」について、各支部からも全国の地方事務局に対して、抗議と撤回の申し入れを実施しています。

私たち国土交通省に働く管理職員は、昨年三月一日の東日本大震災において、自らや家族が被災しながらも全体の奉仕者としての使命感から不眠不休で災害復旧に当たってきましました。そして、今現在も九州における豪雨災害の復旧作業に全国から応援が駆けつけ、日夜を分かたず懸命の作業を続けているところで、生活も勤労意欲も維持できなくなるような今回の内容は断じて許せません。

2012年人勧55歳以上職員昇給抑制内容

昇給区分	A	B	C	D	E
	成績	極めて良好	特に良好	良好	やや良好で無い
一般職員	8号俸以	6号俸	4号俸	2号俸	昇給無し
昇給幅					
55歳以上見直し前	4	3	2	1	無し
55歳以上見直し後	2	1	無し	無し	無し

# 賃金削減撤回、退職金の減額止めろ

## ユニオンが総務省、人事院交渉

人事院の勧告期を向かえ、ユニオンは七月一九日岡村委員長を先頭に、三役で総務省と人事院との交渉を実施しました。特に今回は賃金の削減が強行され、退職金の削減が具体的にされようとする中で、公務員の労働と生活を無視した暴挙に抗議、管理職員の事態を示して、賃金削減の撤回、退職金削減反対、再任用の改善などを強く迫りました。

## 総務省交渉 増員要求 現場の尽力、十分承知

総務省交渉では岡村委員長から「臨時特例法案」の不当性、退職金問題、事務所出張所への増員、再任用の要求を訴え、総務省ではそれぞれの実務担当から回答されました。賃金削減問題では東日本大震災復興というやむを得ない事情もあり、異例なこと。自立的労使交渉などの法案が成立すれば賃金は労使交渉で決められることになる。

退職金については有識者会議を開き検討している、段階的に是正という意見も出ている、有識者会議のとりまとめを受け、労働組合とも話し合っていくと回答しました。

増員要求では大震災やそれ以降の災害で現場の方々が尽力されているのは承知している、民主党政権の下だが東北には重点的に配分した。これ以上の定員削減は業務量を減らさざるを得ないし、質も低下せざるを得ないと（政府に）話している。

退職金問題では「今後のユニオンとの交渉」は窓口で話し合うことを申し入れられました。



総務省交渉

## 人事院

### 逆格差是正を申し入れ

人事院への要請では本給削減に加え、管理職手当だけがぬー〇%もカットされている不当性を指摘し、現在の支給ベースでの格差是正の勧告を強く求めました。

行動しなければ局面は変わらない  
七、一六「さよなら原発」集会に  
全国各地から一七万人が結集

国民の意思が東京・代々木公園に結集しました。一六日に開かれた「さよなら原発一〇万人集会」。炎天下、全都道府県から参加した一七万人（主催者発表）が、野田内閣に原発からの撤退を迫りました。ユニオンも本部・関東支部からこの集会に参加しました。

午後一時半からは、「新宿コース」「渋谷コース」などの三コースに分かれてデモ行進を実施し「海の日」の休日でも多くの人で賑わう都内で「原発廃止」再稼働反対の訴えました。



